

教科教育研修課の研究発表

〔 研究主題 〕

学習内容の関連を踏まえた思考力・判断力・表現力の育成に関する研究
～「判断基準」に基づく指導と評価を通して～

この研究が目しているのは、
思考力・判断力・表現力の継続的
な育成です。



そのためのキーワードが、
「学習内容の関連」と
「判断基準」です。

1 「学習内容の関連」について

「学習内容の関連を踏まえる」とは、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を継続的に育成することについて、複数の単元におけるそれぞれの学習内容のまとまり相互にどのような関連があるのかを明らかにし、指導に生かすことです。このことによって、どのような知識・技能の活用を図る学習活動を設定すればよいのか、何を見通し、何を振り返る学習活動を設定すればよいのか、を具体化することができます。

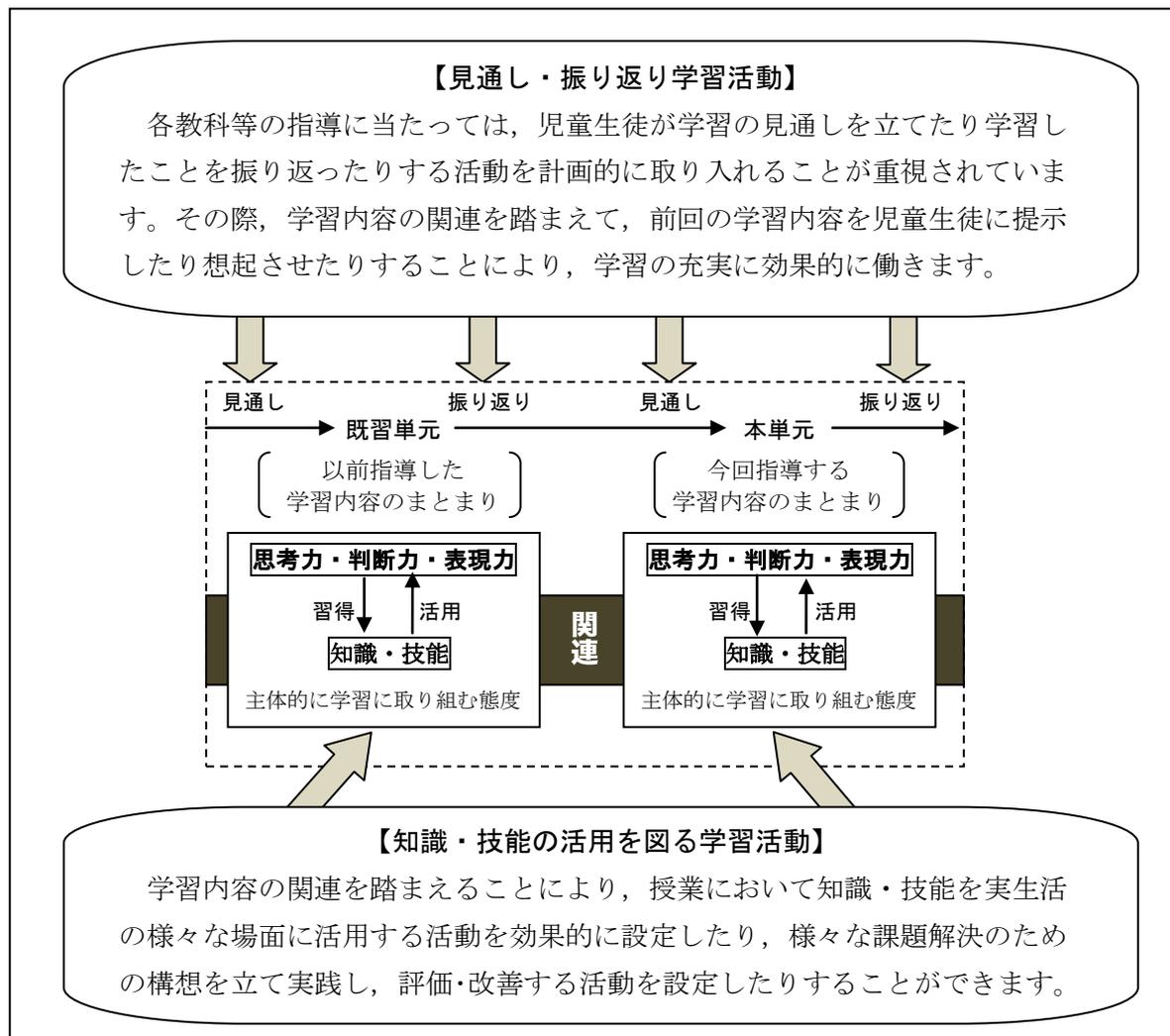


図1 学習内容の関連を踏まえるとは

2 「判断基準」について

「判断基準」とは、児童生徒の思考や判断の結果が表現される「説明」や「論述」等の言語活動において、目標の達成状況を判断する具体的な尺度のことです(図2)。



これを活用すれば、どのような思考・判断・表現を行わせれば目標に到達するのかを正確に見定める授業構想ができます。

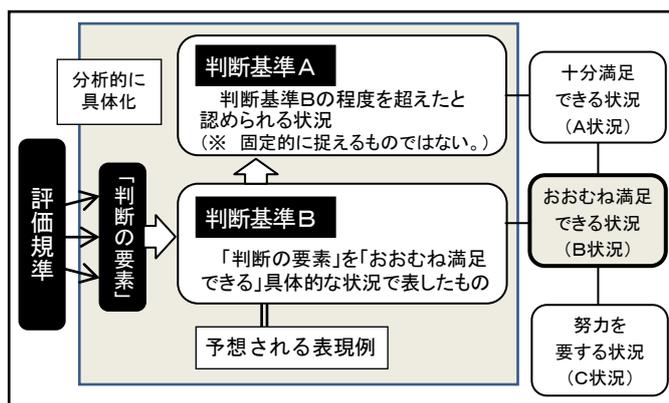


図2 「判断基準」に基づく「思考・判断・表現」の評価

この「判断基準」の妥当性について、「鹿児島学習定着度調査」(小学校第5学年・国語)における、「思考・表現」の問題で説明します。

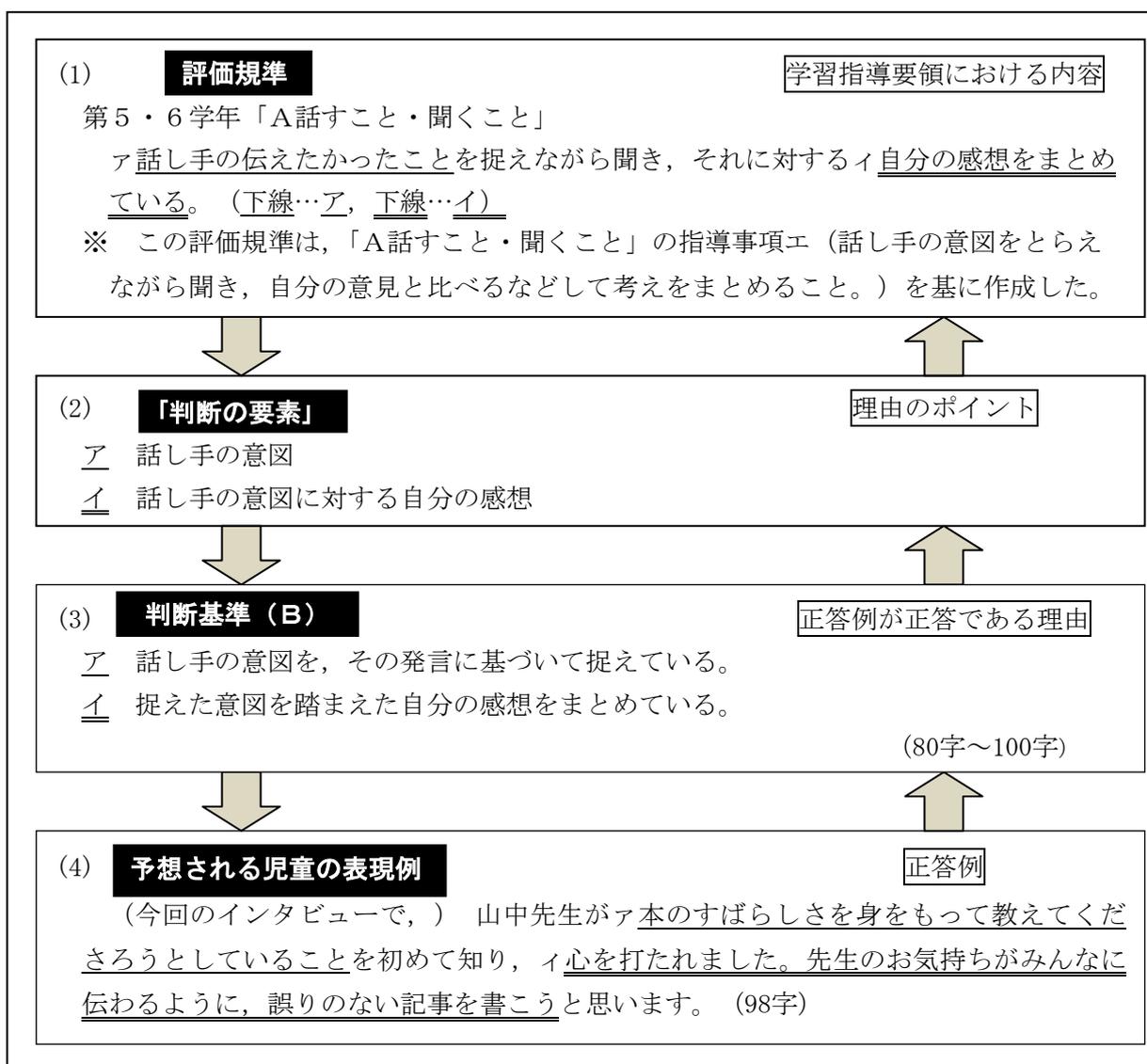


図3 調査問題の答えの導き方と「判断基準」の関係

3 学習内容の関連を踏まえた「判断基準」に基づく「思考・判断・表現」の指導と評価について

「判断基準」を設定して「思考・判断・表現」の評価を行い、その結果を踏まえた指導を行う際にも、学習内容の関連を踏まえれば、より効果的・効率的に指導と評価を行えます。その際のポイントは、図4のとおりです。

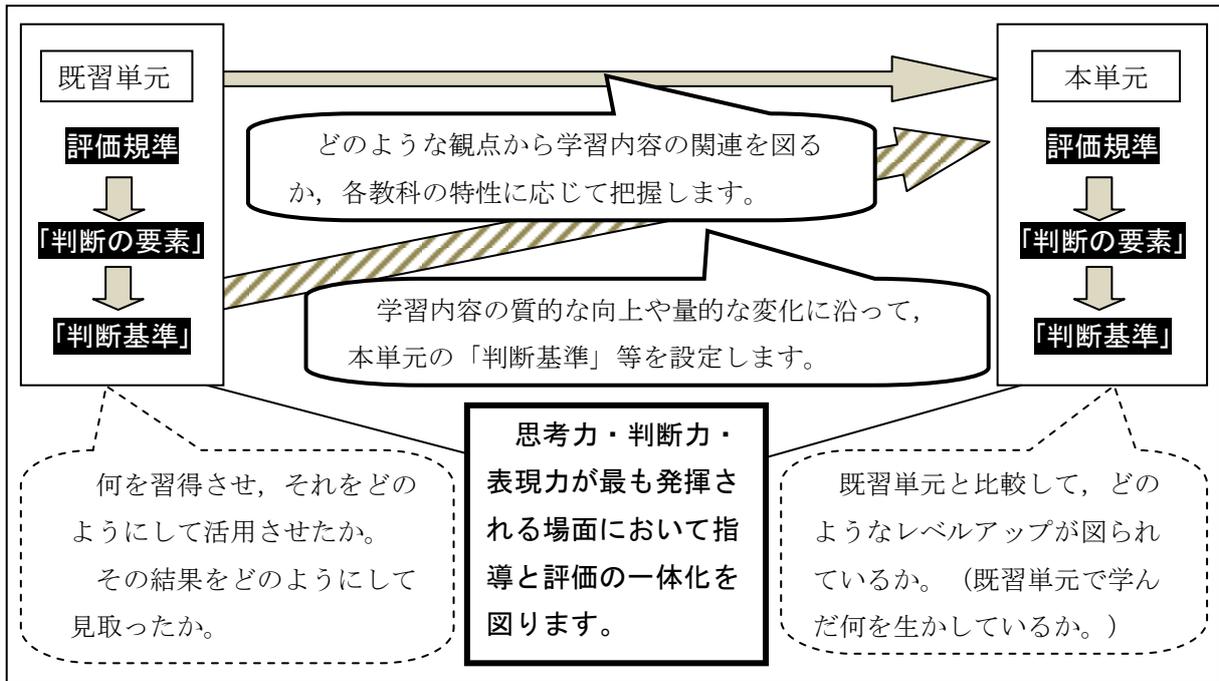


図4 学習内容の関連を踏まえた「判断基準」の設定（単元間に学習内容の関連がある場合）

4 「判断基準」に基づく評価結果を踏まえた指導について

【補充指導】
「努力を要する」C状況と評価された児童生徒について、「おおむね満足できる」B状況となるために取り組ませる指導です。

評価を指導に生かすために

【深化指導】
「おおむね満足できる」B状況と評価された児童生徒について、その可能性を更に伸ばし、「十分満足できる」A状況へ高めるために取り組ませる指導です。

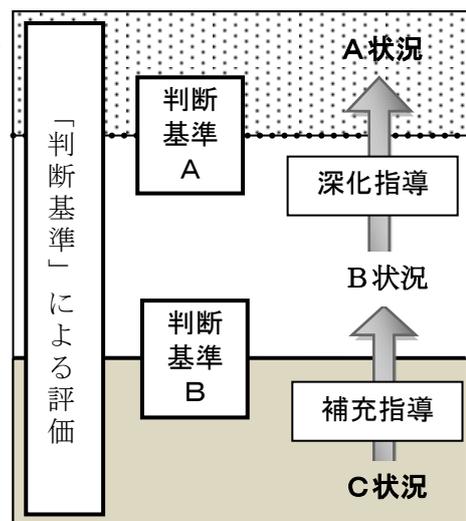


図5 評価結果を踏まえた指導

【平成26年度調査研究発表会】
教科教育研修課研究発表

＜平成25・26年度＞
学習内容の関連を踏まえた
思考力・判断力・表現力の育成に関する研究
～「判断基準」に基づく指導と評価を通して～

 鹿児島県総合教育センター

1

確かな学力

基礎・基本を確実に身に付け、
自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、
主体的に判断し、行動し、
よりよく問題を解決する資質や能力

生きる力

豊かな人間性

自らを律しつつ、
他人とともに協調し、
他人を思いやる心や
感動する心

健康・体力

たくましく
生きるための
健康や体力

2

研究主題

学習内容の関連
を踏まえた
思考力・判断力・表現力の
育成に関する研究

「判断基準」
に基づく指導と評価を通して

3

発表内容

I 「判断基準」について (H23～H24研究内容)

II 「学習内容の関連」について
(H25～H26研究内容)

III 成果と課題

4

I 「判断基準」について

5



7

二 情報委員会を担当している森先生が、インタビューの様子をふり返っているまきさんに、次のようなアドバイスをしました。

「このインタビューは、山中先生のお人かたちを明らかにすることができた、すばらしいインタビューだと思います。あとはより良いインタビューにするためにも、最後のお礼の述べ方は、もっと工夫しましょう。」

「ありがとうございます。とじっただけではなく、その前に、山中先生が伝えたかったことに対する自分の感想を述べるとよいでしょう。」

「このようにするし、相手は、自分の話が相手しつかりと伝わったということが分かり、インタビューを受けてよかったと思ってくれることでしょう。」

まきさんたちは、森先生のアドバイスにたがって、インタビューの中の「……」の部分に文章を付け加えることになりました。付け加える文章を、「今回のインタビューで」に続けて、八十文字以内で書きましょう。

100字
80字

H25年度鹿児島学習定着度調査小学5年「話すこと・聞くこと」 13

「判断基準」による指導の実際

評価規準 ← 指導事項 ← 学習指導要領

話し手の伝えなかったことを捉えながら聞き、それに対する自分の感想をまとめている。

理由のポイント

「判断の要素」

ア 話し手の意図
イ 話し手の意図に対する自分の感想

判断基準B

正答例が正答である理由

ア 話し手の意図を、その発言に基づいて捉えている。
イ 捉えた意図を踏まえた自分の感想をまとめている。

予想される児童の表現例

正答例

山中先生が本のすばらしさを身をもって教えてくださいたいという気持ちを初めて知り、心を打たれました。先生のお気持ちがみんなに伝わるように、誤りのない記事を書こうと思います。

14

II 「学習内容の関連」について

15

学習内容の関連について

見直し・振り返り学習活動

← 既習単元 (以前指導した学習内容のまとめり) → 本単元 (今回指導する学習内容のまとめり) →

知識・技能の活用を図る学習活動

思考力・判断力・表現力

習得 ↓ 活用 ↑

知識・技能

主体的に学習に取り組む態度

関連

「判断基準」の設定に基づく指導と評価

16

学習内容の関連を踏まえた指導

次回の学習内容(見直し)へ

思考力・判断力・表現力の育成

今回の学習内容

習得 ↔ 活用

見直し 振り返り

前回の学習内容

習得 ↔ 活用

見直し 振り返り

17

III 成果と課題

18

成果と課題

成果

- 思考力・判断力・表現力を継続的に育成するための、指導の考え方を明確にできた。
- 思考力・判断力・表現力を評価する「判断基準」の妥当性の向上、評価を適切に行う際の考え方を提示できた。
- 評価結果を効果的に指導に生かす際の考え方を提示できた。

19

成果と課題

課題

- 判断基準Bを超える優れた表現を、適切に評価できる手立てを構築する必要がある。
- 「学習内容の関連」及び「判断基準」を用いた、思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価について、妥当性を更に追求し、普及を図る必要がある。

20

